

6. その他

▶▶▶ ファンクラブ様の御支援につきまして ◀◀◀

同志社ラグビーファンクラブ様には、2003年度より、毎年、多大なる御支援をいただいております。御支援の内容を掲載させていただきますと共に、あらためて深く感謝申し上げます。

同志社ラグビーを応援してくださる皆様のためにも、現役及びOBは一丸となって勝利を目指してまいります。

年度	支 援 内 容
2003	フィットネスマシン他7件
2004	コンタクトバッグ、スーツ他6件
2005	タックルマシン他7件
2006	DRCハウス厨房設備他2件
2007	人工芝基金、戦略分析ソフト他1件
2008	ストレングストレーナー、体組成計、お肉差し入れ他4件
2009	フィットネス器具、新入部員ジャージ他3件
2010	奨学金、ポール、新入部員ジャージ他2件
2011	奨学金、インドアローアマシン、食事支援、エアロバイク、新入部員ジャージ他4件
2012	奨学金、DRCハウス食器、洗濯機、新入部員ジャージ他2件
2013	奨学金、製氷機、プロテイン、ウエイト器具、筋トレバッグ・マット、体脂肪計、新入部員ジャージ他3件
2014	奨学金、プロテイン、ウエイト器具、新入部員ジャージ他3件
2015	奨学金、トレーニンググッズ、メディシンボール、食事支援、新入部員ジャージ他2件
2016	奨学金、リバーシブルマット、アイパッド、ブレーキハードル、トレーニンググッズ、食事支援、新入部員ジャージ他2件

▶▶▶ 台湾 清忠杯50回記念大会 ◀◀◀

谷本孝史 (S48年卒)

同志社大学ラグビー部第7代主将の陳清忠氏は大正4年(1915年)に英文科を卒業し、台北の北にある淡水中学(旧制)で英語教師として教鞭をとる中、1923年にラグビー部を創設しました。その後、台湾各地にラグビーチームができ陳清忠氏は台湾ラグビーの父として現在も尊敬されています。(詳しくは同志社大学ラグビー百年史390ページを参照して下さい)

氏の没後、淡水中学OBが中心になって清忠杯という大会を1968年に始め今年が第50回大会となり村口OB会長に出席の招待がきました。40年前の第10回大会には同志社大学の若手OBを中心に全同志社で遠征していますが、今回は淡江高校(旧淡水中学)と親交の深い同志社香里OBがチームを作って遠征しました。

3月25日(土)10時、陳尊道氏(陳清忠 三男)とご親族、淡江ラグビー関係者と、村口会長(S47卒)、酒井(S48卒)、谷本(S48卒)、圓井(S60卒、香里OB会長)が墓参りをし献花しました。そのあと淡江高校の教会に場所を移して、清忠杯50回記念式典が行われました。午後からは淡江高校のグラウンドで各学校の試合が行われ、小雨で少しぬかるんだ中、香里OBも元気にプレーをしていました。夜には学校近くのレストランで約150人のパーティーで試合の延長戦のように飲みっぷりを競っていました。布村(S49卒)、真下(S49卒)も到着しましたが我々試合をしていない連中はもっぱら食べることに執着し、ほどよい酔いの中、楽しい時間が過ぎていきました。村口会長、谷本も交流の発展に寄与したということで表彰していただきました。

同志社大学社会学部と淡江高校とは姚聡榮校長のころに留学生協定を結ぶことに尽力されその後協定を結びましたが、協定の付帯条件が厳しく4年経った今も留学生が同志社に来ない状態が続いています。柯賜賢氏が新しく校長になられたので協定の中身の改定を協議する方向で動いていただくよう、今回の機会も捉えてお願いしました。

100年以上前に同志社でラグビーに触れて台湾に持ち帰り発展させた陳清忠氏の情熱を感じる時、淡江高校出身の留学生が同志社に学び成長してくれることを願わずにはいられません。

